

4 地域活動（キャンパス周辺地域での活動）

●2016 年度「地域活動」の主な活動

日にち	内容（参加人数）
4/9（土）	【横浜】「とっとの芽」（2名）
4/19（火）・4/21（木）・ 4/22（金）	【横浜】「ボランティアサークル合同オリエンテーション」 ※ボランティアに興味のある新入生、さらに今まで興味を持ったことが なかった新入生に、明治学院大学のさまざまなボランティアサークル を紹介
4/23（土）	【横浜】「とっとの芽」（9名） 【白金】日本ユニセフ協会「One Minute Video コンテスト」キックオフミ ーティング（3名）
4/29（金・祝）	【白金】白金小学校での「ふれあい運動会」（地域の運動会）（8名）
5/7（土）	【横浜】「とっとの芽」
5/15（日）	【横浜】戸塚区主催「チャレンジフェスティバル」（4名）
5/21（土）	【横浜】「とっとの芽」（3名）
5/22（日）	【横浜】「原宿ふれあいフリーマーケット」（1 Day for Others 協働プログラ ム）（21名）
5/28（土）・5/29（日）	【白金】大学祭「戸塚まつり」にて「ユニセフと体験してみよう！～世界 の子どもたちの今～」 ※「日本ユニセフ協会」との連携プログラム
6/18（土）	【横浜】「とっとの芽」（1 Day for Others 協働プログラム）（6名）
7/16（土）	【横浜】「とっとの芽」
7/23（土）・7/24（日）	【横浜】「小田急分譲地盆踊り」（2日間 20名）
8/6（土）	【横浜】東戸塚共栄会・モレラ東戸塚夏祭りで「とっとの芽」コーナー
8/19（金）	【白金】日本ユニセフ協会「One Minute Video コンテスト」最終審査会/ 表彰式（2名）
8/20（土）～8/22（月）	【白金】港区青少年対策高松地区委員会「みなとキャンプ村」（山梨県北都 留郡小菅町）（8名）
9/18（日）	【白金】「目黒区民まつり」（目黒のSUNまつり）（9名）
9/24（土）・9/25（日）	【白金】「スリランカフェスティバル」（34名）
10/1（土）	【白金】「わんぱく祭り」@白金台児童館（2名）
10/8（土）・10/9（日）	【白金】「みなと区民まつり」（1 Day for Others 協働プログラム）（18名）
10/16（日）	【横浜】「とつか宿場まつり」（1 Day for Others 協働プログラム）（23名）
10/22（土）	【横浜】横浜市立倉田小学校運動会（2名）
11/6（日）	【横浜】「原宿ふれあいフリーマーケット」（1 Day for Others 協働プログラ ム）（23名）
11/12（土）	【横浜】倉田小学校での倉田小拠点防災訓練（2名）

日にち	内容（参加人数）
11/26（土）	【横浜】「とっとの芽」
12/17（土）	【横浜】 振り返りの会実施
1/7（土）	【横浜】「とっとの芽」
2/11（土・祝）	【白金】 港区青少年対策高松地区委員会「三浦半島ハイキングといちご狩り」（10名）

4.1 横浜地域活動

今年度も、戸塚区内を中心に、学校や住民組織、地域団体、NPO あるいは個人の皆さまの多大なるご協力・ご理解のもと、学生に活動の場をいただいたことに感謝したい。

今年度は、1年生が多く入ってきてくれたため、毎週テレビ会議をしながら、情報共有の課題を学生たちが感じた1年であったといえる。メンバー間で「これは何のための作業か」「ボランティアとしてうかがう団体は何をしている団体か」「一緒に活動する地域の方は、この活動の何を大事にされているのか」などを丁寧に説明していくことを心がけてほしいと思う。また、説明するには自分が知っていなければならないので、自ら学ぶ姿勢を忘れずにいてほしい。その意味で、集まれるメンバーだけではあったが、春休み中にゆっくりと話し合う時間ができたのはよかった。情報共有とはSNSなどで書き込めば終わりではなく、手間がかかるものだとすることを心にとどめておいてほしい。

今年度の活動の特徴の一つとして、昨年度から継続して関わってきた「原宿ふれあいフリーマーケット」や「とつか宿場まつり」を1 Day for Others のプログラムに組み込み、本セクション学生メンバーが1 Day for Others のプログラムのリーダーになり、他の本学学生を巻き込んでイベントを盛り上げたことがあげられるだろう。地域の方々と協力しつつ、明学生の動きも見ながら訪れた方々とコミュニケーションをとる・・・といういくつかの事を同時にこなすことで、物事の動きを俯瞰的に見て対応する力が身につけられるのではないかと考える。

さらに、今年度は横浜キャンパスそばの小田急分譲地での活動を久しぶりに再開でき、盆踊り会場でも「今日は明治学院大学の皆さんと一緒に盛り上げてくれています」と学生たちを紹介する時間まで設けていただいたことにとっても感動した。これからも、学生にとって「ボランティア活動をしてよかった」と思え、地域の方には「明学生に来てもらえてよかった」と受け入れていただき、さらに地域が活性化するような活動を学生とともに続けていきたい。

（ボランティアコーディネーター 中原美香）

◇とっとの芽（戸塚区地域子育て支援拠点）

目的	・ 地域の子育て拠点「とっとの芽」で子どもたちとふれあう ・ 明学生に「とっとの芽」について知ってもらう
場所	戸塚区地域子育て支援拠点「とっとの芽」
活動内容	地域子育て拠点にて、子どもたちとのふれあい
活動日時、参加人数	第1回 2016年4月9日（土）13:00～15:30、2名（内、学生メンバー2名） 第2回 5月7日（土）13:00～15:30 第3回 6月18日（土）13:00～15:30、6名（内、学生メンバー1名）

第4回	7月16日(土) 13:00~15:30
第5回	8月6日(土) 東戸塚共栄会・モレラ東戸塚夏祭り 9:00~16:00
第6回	11月26日(土) 9:00~12:30、13:00~15:30
第7回	2017年1月7日(土) 13:00~15:30

実施概要

横浜市内各区には「地域子育て支援拠点」が設けられており、戸塚区の子育て支援拠点が「とっとの芽」である。親子が集い、子育ての悩み相談などができる、子育てを地域全体で支えるための「場」として利用されている。午前中は掃除から始まり、広場と呼ばれるスペースで子どもや保護者の方と過ごした後、手遊びや大型絵本の読み聞かせをする。午後子どもや保護者の方と広場で過ごした後、片づけをする。そして、利用者が帰った後、子どもが使ったおもちゃの消毒をするというのが大体の流れである。夏には東戸塚駅のそばでお祭りがおこなわれ、そのお手伝いもした。

地域活動の学生メンバーのほか、毎回一般学生の参加者を募り、一緒に活動した。

感想・活動を通して得た学び

利用者と触れ合うなかで子育ての苦労や難しさ、当事者のニーズを知ることができ、それをもとに「将来子育てをすることになったら」と自分の将来をイメージすることができた。また、子どもとの接し方、触れ合い方について学べたことは自分にとって大きな学びだった。とっとの芽の職員の方が施設を気軽に利用してもらえるように工夫を施しているのを知ることができたほか、第三者である私たち学生が、職員の方や利用者の方と関わることで、この場所がいかに大切か、必要とされているかを知ることができた。

今後に向けて

地道に活動を続け、もっと多くの学生に「とっとの芽」のような場所があるということを知ってもらえたらと思っている。

(学生メンバー 社会学部社会福祉学科)

◇小田急分譲地での盆踊り

目的	お祭りの活性化
場所	上倉田第二公園
活動内容	盆踊りを櫓の上で踊る・出店の手伝い
活動日時、 参加人数	2016年7月23日(土) 19:00~21:00、10名(内、学生メンバー9名) 7月24日(日) 19:00~21:00、10名(内、学生メンバー8名)

実施概要

小田急分譲地は横浜キャンパスの北に隣接している。10年程前には公園清掃や夏祭りへの参加などで交流させていただいていたが、近年は途絶えており、今回は数年ぶりの参加となった。お祭りの本番3週間前から盆踊りの練習を毎週水曜日におこない、その練習で地域の方々と交流や当日のスケジュールなどの相談をさせていただいた。そして当日は盆踊りが始まるまで出店の手伝いをし、盆踊りが始まると最初は櫓の下で、慣れたところで地域の方にうながされて櫓の上で踊った。

感想・活動を通して得た学び

今回の活動も含めすべての活動に参加した私は、地域の方々と親交を深めることができたと考えている。練習中は小田急分譲地の歴史についての話や、今地域で問題になっていることなどを生の声として聞くことができた。これは今後の私たちの活動において、どのようなニーズがあるのかを知る良い機会となった。お祭りが終わった後も、道ですれ違ふと挨拶をしてくださる方もおり、地域とのつながりを実感するなかでより地域に貢献していきたいという思いを抱くようになった。

今後に向けて

今回は、より多くの明学生に参加してほしいと考えている。お祭りとして参加するだけでも面白いものなので興味を持ってもらいやすいだろうし、自分が通っている地域をさらに知ってもらいたいからである。学生にとっては、地域を知ることによって自分が学んでいる知識の生かしどころや新たな問題を発見し、学習がより身近なものになる。地域の方々にとっては、明学生と交流することで生活の刺激になる。そのようなきっかけづくりになるよう、活動を工夫していきたい。

(学生メンバー 心理学部教育発達学科)

◇とつか宿場まつり

目的	多くの方にとつか宿場まつりに参加してもらう
場所	戸塚駅周辺
活動内容	子ども向けブースをひらく
活動日時、 参加人数	2016年10月16日(日) 8:20~18:30 23人(内、学生メンバー11人)

実施概要

戸塚地域で活動するさまざまな団体や企業、戸塚区役所などとともに2015年から実施している「とつか宿場まつり」に参加し、戸塚駅前に、子ども向けの塗り絵、ペットボトルボーリング、輪投げ、旅がらすのブースを出した。輪投げとペットボトルボーリングでは景品としてバルーンアートを作って渡した。また、戸塚区のマスコットキャラクター「ウナシー」の着ぐるみの中に入ってウナシー体操を踊った。これらに参加してくれた人がそのまま区役所に行ってもらえるように戸塚の宿場町としての歴史に関するクイズラリーを実施した。また、アーティストのライブの手伝いをした。

感想・活動を通して得た学び

地域の幅広い世代の方々と短い時間ではあるが交流することができ、とても楽しかった。また、1 Day for Others のプログラムでもあったので、リーダー学生として参加したことで、はじめてボランティアで指示を受ける側ではなく、指示を出す側になり、責任感をもって活動することができた。そして、全体を見て指示を出すことの大変さを学んだ。これまでは言われたことをただやるだけだったが、今回は自分で何をすべきか考えて実行に移すということが必要であった。参加した学生のシフト作成やスケジュール管理など慣れないことがたくさんあって大変だったが、良い経験になったと思う。

今後に向けて

準備の段階では、地域活動のメンバー全員が何をやるのか、目的は何か、といったことを把握して

おらず作業が難航した。今後は全員で情報をこまめに共有しあい、作業の優先順位や分担をしっかりと決めて、全員のモチベーションを上げる必要があると思った。また、宿場まつり当日もシフトができなかったり、備品の管理がしっかりしていなかったりといった問題点があったので、今後はそのようなことがないよう徹底していきたい。

(学生メンバー 法学部法律学科)

◇原宿ふれあいフリーマーケット

目的	フリーマーケットに参加した親子に楽しんでもらう
場所	横浜医療センター公開空地（戸塚区原宿）
活動内容	子ども向けブースの出店
活動日時、参加人数	2016年11月6日（日）10:00～ 23名（内、学生メンバー12名）

実施概要

戸塚区原宿の商店街「松栄会」主催のフリーマーケットで子ども向けブースの出店をおこなった。内容はヨーヨー釣り、輪投げ、もぐらたたき、射的、スタンプラリーの五つである。景品としてお菓子やバルーンアートを準備した。当日は大変盛況であった。スタンプラリーのスタンプは各ブースに参加することで獲得できるものにしたことも、盛況の要因であったと考えられる。また横浜地域活動の学生メンバーや1日社会貢献プログラム1 Day for Othersの参加学生以外にも中学生、高校生がお手伝いに来てくれた。

感想・活動を通して得た学び

多くの子どもたちが参加してくれたことが大変嬉しいことであった。しかし、盛況だったがゆえに手が足りなかったということもあった。もともと、1 Day for Othersでの参加学生が少なかったこともあるが、人によっては持ち場を離れられず、昼食が遅れてしまう場面もあった。今回、景品として用意したバルーンアートが子どもたちに大変好評だったことが印象的であった。

今後に向けて

ブースが野ざらしであったため、風が吹いたときに紙が飛ばされることがあった。当日のさまざまな天候を考慮して準備することも大切である。また、人員が足りていないという問題もあったため、ブースを余裕をもって動かすことができるほどの人数の確保が大切である。

(学生メンバー 心理学部教育発達学科)